松戸保健所感染症情報

2016年10月臨時号①

（平成 28 年 10 月 3 日配信）
（平成 28 年 10 月 5 日訂正）
（一般・医療機関版共通）

松戸市内の小学校でインフルエンザ様疾患による学級閉鎖

松戸保健所管内において、今シーズン初のインフルエンザ様疾患による学級閉鎖となります。手洗い、うがいなど体調管理を徹底し、早めに予防接種を受けましょう。

（県内の他保健所管内でもインフルエンザ様疾患による小学校の学級閉鎖が報告されています。）

○概要 10 月 3 日、松戸市内の小学校からインフルエンザ様疾患により 10 月 4 日から学級閉鎖を行うとの連絡が松戸保健所にありました。

1 学校概要

小学校（生徒数：601 名）2 年生 3 クラスのうち 1 クラスで、児童 35 名中インフルエンザ様疾患による患者 6 名（欠席者も 6 名）

2 主な症状

発熱、鼻汁、咳

3 学級閉鎖期間

平成 28 年 10 月 4 日～6 日

【参考】千葉県感染症情報センター（千葉県） https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html#influenza

【参考】国立感染症研究所感染症情報センター http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html

○千葉県の状況

感染症発生動向調査による患者報告数及び定点医療機関あたりの報告数は、本年第 38 週（9 月 19 日～9 月 25 日）で 21 例、0.10 でした。（昨年同時期は 11 例、0.05 でした。）

○全国の状況

感染症発生動向調査（第38週）によると、沖縄県（246 例、4.24）で多く、近県では茨城県（17 例、0.14）、東京都（39 例、0.10）、神奈川県（26 例、0.08）、埼玉県（10 例、0.04）の報告となっていました。

☆定点医療機関とは

県が県内の 215 ヶ所の小児科・内科を標榜する診療所等（インフルエンザ定点）を定点として指定し、その定点の医師が、インフルエンザ患者と診断した場合に保健所へ報告することになっている。

定点あたり報告数とは、各定点において 1 週間に診断した患者数の平均値である。

○インフルエンザの予防と対応

インフルエンザは、突然の高熱、頭痛、関節痛など、普通の風邪に比べて全身症状が強く、気管支炎や肺炎などを合併し重症化することが多いので、体力のない高齢者や乳幼児などは、特に注意が必要です。

- 予防接種を受けましょう。（重症化の予防に有効です。）
- うがいや手洗いを日常的に行う。
- 室内では、加湿器などを使って乾燥を防ぐ。
- 十分に栄養と休養をとり、体力や抵抗力を高め、体調管理を行う。
- 人混みを避け、外出時にはマスクを着用する。
- ☆ インフルエンザにかかったら、早めに医療機関で受診しましょう。

県では、「咳エチケット」を推奨しています。
① 咳・くしゃみが出たら、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。
② マスクを持っていない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて 1 メートル以上離れましょう。
③ 鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。
④ 咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。

◆◇◆

松戸保健所感染症情報ネットワークシステム事務局　千葉県松戸健康福祉センター（松戸保健所）疾病対策課

松戸保健所感染症情報バックナンバー https://www.pref.chiba.lg.jp/kf-matsudo/kansenshou/kansenshou2.html